

# 世界の地球観測衛星の現状

平成15年11月 6日

宇宙航空研究開発機構

# 目 次

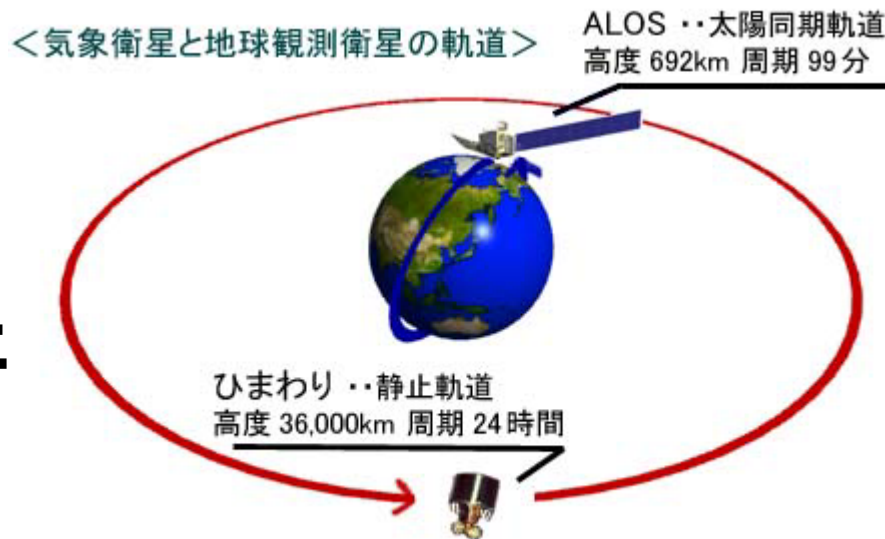
- 1. 地球観測衛星とは？**
- 2. 地球観測衛星の現状と傾向**
- 3. 観測対象からみた衛星観測の状況**
- 4. 国際的な枠組み**
  - 4-1 世界的な地球観測の連携の取り組みの現状**
  - 4-2 統合地球観測戦略 (IGOS)**
  - 4-3 地球観測衛星委員会 (CEOS) の概要**

# 1. 地球観測衛星とは？(1/2)

•地球観測衛星は、地球の陸、海、大気など、地球の様子を宇宙から観測するための人工衛星である。

•多くの地球観測衛星は、高度400～1000kmから、一定の地域を周期的に観測し、一定期間で地球全体を観測できる。

•気象衛星「ひまわり」なども地球観測衛星の一種で、高度約36,000kmの静止軌道から地球の大気の観測を行っている。



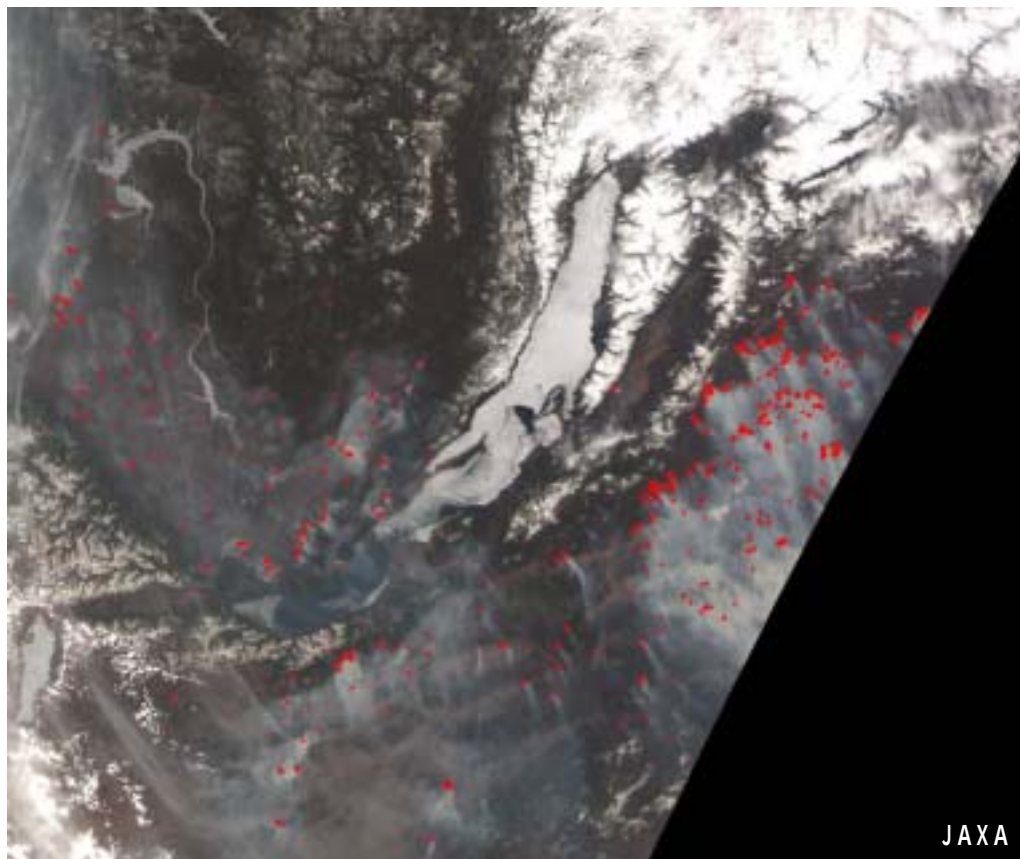
## 1. 地球観測衛星とは？(2/2)

地上の植生や海面水温など様々なものを見分ける目として色々なセンサを搭載して、地球観測を行う。



# 地球観測衛星で得られる活用例

シベリアの森林火災 (ADEOS-II/GLI:2003年5月8日観測)

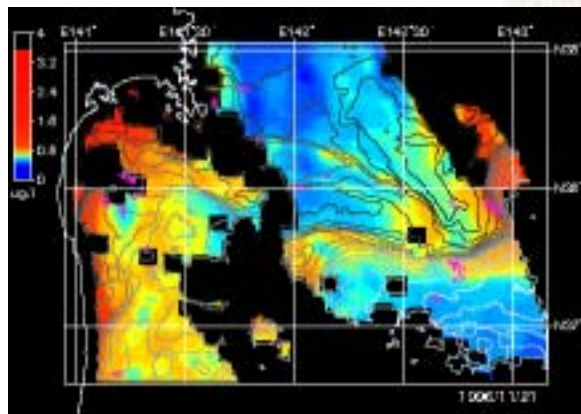


- グローバル・イメジャー(GLI)の観測から、火災が起こっている場所 (赤点で表示) や煙の分布がわかる。
- GLIの観測データは火災による煙の延焼をくい止めるための情報として役立っている。

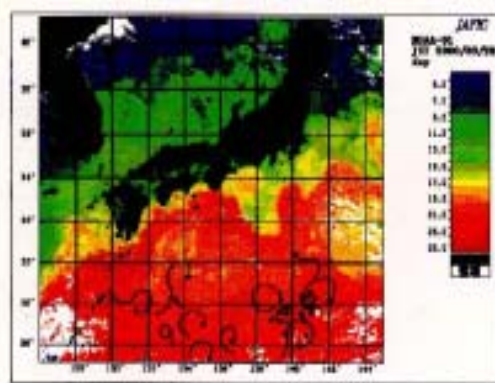
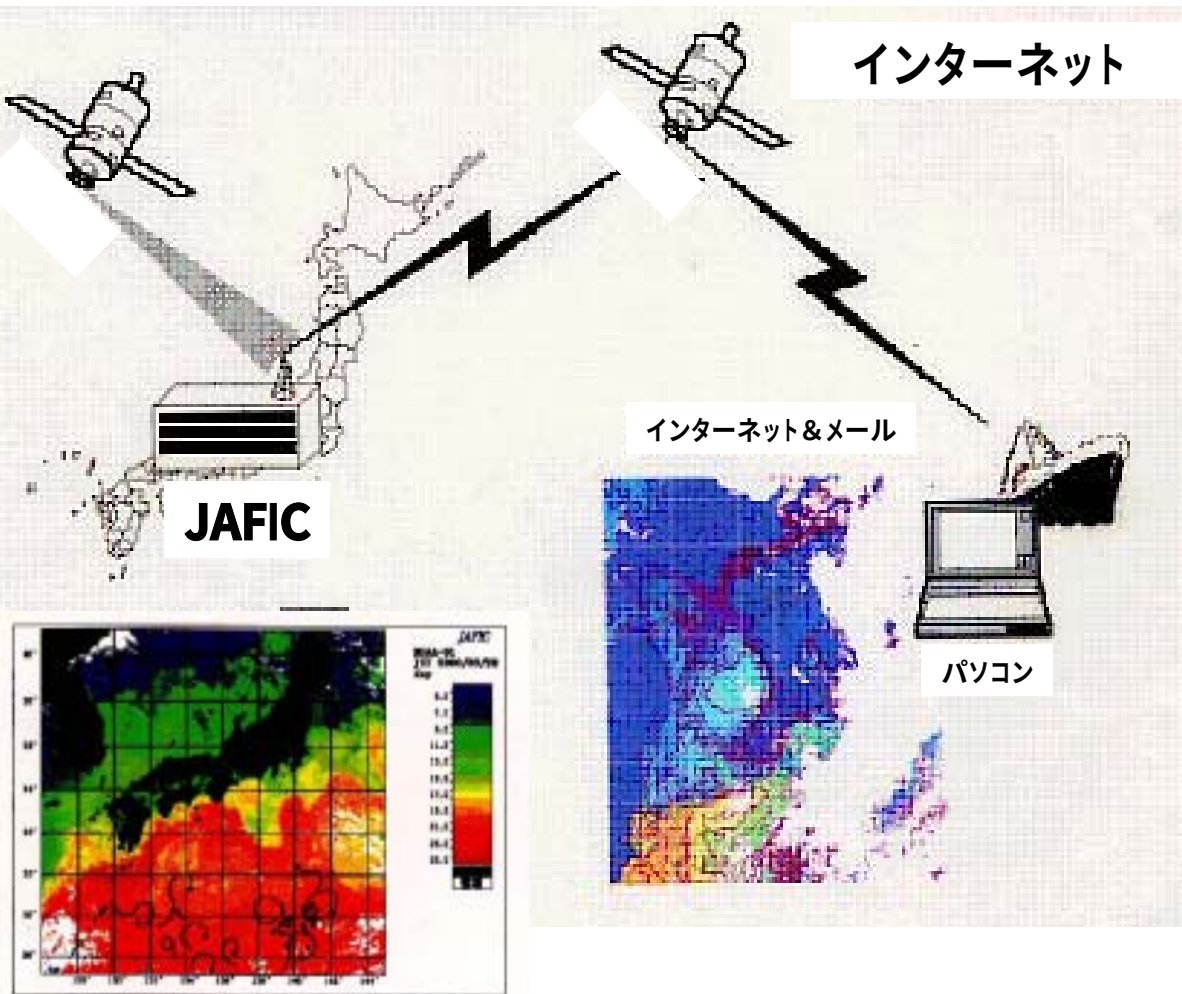
# 活用例： 漁業情報サービスへの活用

JAFIC (漁業情報サービスセンター) で処理・解析された漁業情報は、ほぼリアルタイムで日本近海の漁船に配信され、効率的な漁業のため有効利用されます。

また、海上保安庁では東京湾の赤潮を監視するシステムを検討しています。



水温と海色の複合マップ  
(OCTS:三陸沖)



日本近海に来遊するカツオ群の情報 (NOAA)

図作成: JAFIC